

みなみの風

No.42 2021/7/24(内部資料)
日本共産党大宮南後援会ニュース
会長:飯塚 勉
連絡先:070-4518-6584
chako19@jcom.home.ne.jp

市民と野党の共闘で
新しい政治を!
国民共同のしんぶん
赤旗をお読みください

五輪中止してコロナ感染対策に全力を!

「ワクチンはお済みですか」

新型コロナウイルスの第5波突入が明らかです。多少の安堵とお互いを思いやるこのことばが唯一の救いです。

「コロナ禍のさなか五輪強行の暴挙」

店へ金融機関を通じての恫喝ですから、猛反発をくらい即撤回。開会式楽曲担当者の過

去の障害者いじめを認める辞任。先には、女性差別発言で森元首相がJOC会長を辞任しました。これが官邸やJOCの人権感覚かと思うとガッカリ。

接種が進めば一気に(五輪開催へ)雰囲気は変わると、官邸が遮二無二急がせたワクチン接種。悲しいかな、ワクチンの自国開発をやめていた日本。海外メーカーから約束の供与を減らされていた!新規予約のキャンセルに追いまくられる自治体や職域接種の企業から「梯子をはずされた」と怨嗟の声噴出も当然です。

一方で、長引く宣言やまん防によって職を失い、食事も事欠く人々が。地域で寄付を募って行う「フードパントリー」(無料食糧配布)には長い列ができる。感染収束に後手ごと、やるべきことをやらず、やっつけはいけないことをやる政治がどんなに多くの人々を苦しめているのか。

「国民のために働く」は大うそ!圧倒的多数の国民が不安あるいは反対(東京都民7割)していることを強行するのですから。政府分科会の尾身会長は「パンデミックで(五輪開催は)普通はない」と明言。海外からも「パンデミックのさなかに、世界中から選手、コーチ、支援要員を、国民がほとんどワクチン接種を受けていない窮屈な国の一角に集める狂気」と。IOC巨大利権と政権の思惑がなせる世紀的愚行を許していいのでしょうか?

五輪より命とくらしを都議選が示した地殻変動

先の都議選、投票の7月4日には、東京の新規感染数はまだ4,5百人でしたが、それでも都民の審判は明らかでした。自公は過半数に遠く及ばず、五輪中止を訴えた共産党は引き続き野党第一党の19議席に、立憲民主党は8議席から倍増の15議席、共産党が推した無所属会派2議席も加えた36議席

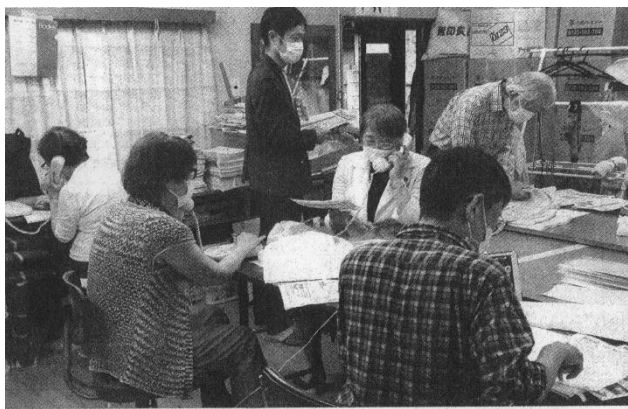
文京区(前回215票差の悔しさを晴らすトップ当選!)

当 福手ゆうこ(共)300815



当 都民F(現)300077
落 自民党(現)250097

市民の仲間とともに足しげく応援に行きました。



文京区の白山、千石地域の共産党後援会・「白千会」事務所

憩い



7月15日、「コロナ禍で行けるのはここだ」と思い立ち、行田の古代蓮を見に行きました。電車で行田駅に行き、市内循環バスで蓮の里へ。園内には3カ所の池があり、白、ピンク等の蓮が見事に咲いていました。色の微妙さに感心!池の中には牛ガエルのおたまじやくしやフナ、ひきガエル、亀等がいて、久しぶりに山里にきた風景でした。一回りしても1時間半位ですが、タワーや数種類の米で作った田んぼ絵等も楽しめます。上尾の原市でも蓮の花を楽しめるのか、コロナ禍のちよつとした癒しでした。(M)



みんなの声

何もかも値上げ!!

高齢者医療保険料の通知が届いて恐る恐る開いてみたらやはり値上げ通知でした。先日届いた介護保険料も値上げで昨年比べ医療保険料が3,500円多くなっていました。病院の窓口支払いも上がるし、再々ビックリです。来月から老人施設入所者の費用が増大されるとの事、年金だけの収入で年金だけは下がるのに何もかも値上げばかりでどうやって生活しろというのでしょうか。(N)

都議選の応援に入って

コロナ禍で、都議選の応援を頼まれました。感染が止まらない都内へ行く不安がありました。都議選応援の経験がないので参加。チラシ配り、ハンドマイクしながら文京区内を歩き、文京区は区画整理されている、道路と歩道が広い、建物は低層が多く街並みきれいで住みやすい印象をもちました。共産党候補者を15年以上応援して初めて候補者が当選しました。福手ゆうこさん、おめでとう!(S)

今夏のゲリラ豪雨

対策について

7月14日、「建設道路を考える会」と地域住民が浸水対策について市に要望書を提出し話し合いました。専門家の助言も得てまとめた今回で3回目の要望書提出は、共産党神田市議にもかかわってもらい、山本ゆう子氏はじめ10人が参加、道路建設課、下水道建設課、河川課4名出席のもとで行われました。

市から建設道路下に雨水貯留管の増設、水位計の設置、仮排水ポンプ、雨水排水



柵やグレーディング増設などについて説明があり、7月末までにまとめて回答書をもらうことになりました。

今夏も各地でゲリラ豪雨の被害が伝えられています。浸水被害がおこらなくなるまで引き続き取り組む予定です。(F)

つれづれ 平和行進

7月16日、さいたま市内で国民平和大行進が始まりました。大宮区は17日9時半から、さいたま新都心駅前でありました。

今年も感染対策のため、行進はなして各団体の挨拶のあと宣伝カーを見送る形での参加となりました。

旧大宮市のなごりであった団体も区ごとに分かれて、今回大宮生健会が初参加でした。



大宮南後援会も参加しました。原爆と人間展委員会は大きなプラスターをもって展示のアップルをしていました。来年はコロナも収束して、行進して核兵器廃絶の宣伝行動ができたと思います。(S)

大宮区社保協学習会③ 4月28日(水)

スガ政権による医療破壊やめさせよう!

病床削減・高齢者医療費2倍化



さいたま市 社保協会長 荒川常男さん

生活保護は、今コロナ禍でどんどん増えています。

V. 生活保護

国会で共産党の議員が扶養照会をやめると訴えています。親族に「あなたがこの人の扶養のお金払ってもらえませんか」と連絡する。これが嫌で生活保護を受けないという人が非常に多いのです。

扶養照会は義務ではありません。生健会では毎年福祉関係の部長、課長を訪問しています。国が「これは義務ではない」と言っても市町村によって対応がバラバラです。何十年も音信不通の親族に、ただ連絡するだけではなく資産の明細を出せ、貯金額を出せ、所得を証明するものをだせと迫つたりしています。さいたま市は生健会が頑張っているせいもあって、そこまですべて柔軟に対応している。「私たちは相手の事情に合わせて柔軟に対応している。」とさいたま市は答えますが、「柔軟ではなく、あくまでも本人の立場にたつてやってほしいのだ」と私たちは訴えています。

もう一つ問題なのは、今まで窓口は正規の職員だったのが民間の業務委託になったことです。さいたま市は(株)パソナ(竹中平蔵のところ)に一部を委託しています。

自治体によつては現役の警察官を配置しているところもあります。OBを配置しているところはよくあるようです。

赤旗に「生活保護を受ける人には無年金や低年金の世帯が多い」と言っていました。独居の高齢者は生活保護の全世帯の半数を占めます。

生活保護をなくすためには「減らない年金、暮らせる年金」を実現していかなければなりません。

しかし年金はどんどん減らされていきます。それによって生活保護を増やしている状況です。

結果国民の税金が増えているという実態になっています。

VI. 介護保険

介護の社会化ということで介護保険制度が生まれて、今年で満21年です。

しかし、介護施設は少ない人数で効率よく運営していくという方針で、どんどん国からの金も削減されていきます。

高齢者は増えるのに施設

はなかなか増えません。逆に介護保険料が増えて、国民の負担が増えています。

いま、介護による殺人や心中が増え、介護殺人は1週間に1回平均でおきています。

ある民間の老人ホームで、具合が悪くなつて大宮日赤病院に入院しました。そこで1ヶ月まともな食事が与えられていないことがわかりました。コロナで職員が辞め、手薄になっていたからです。その人はまもなく死亡しました。

介護施設のヘルパーさんは一般職員より給与が3割は安く過酷な労働です。

募集は多いが、どんどん高齢化で辞めていく人もいるので悪循環です。

この状況を県と交渉したとき、「これからは科学、ロボットを導入していく」というのです。直接人と人がむきあつてやるのが介護の「基本じゃないでしょうか」。

介護保険料制度

保険の制度というのは払った人が受けられる。払わない人は受けられない制度です。

国保は社会保障の制度で、私たちが職員を増やせ、医療費を軽減しろと言つていことができません。

しかし介護保険でこれをすると「いいですよ。でもみなさんの保険料が上がりますよ」ということになります。結局保険料に跳ね返るといふのです。

介護保険の現在の制度を改

め、保険ではなく社会保障の制度として考えなくてはなりません。

以前国は老後は保険で面倒みまふと言つてきました。現在では保険あつても介護を受けることができまふ。

昔は特養ホームには要介護1、2で入れました。今は介護3以上でなければ入れません。

介護1、2以下の人は全体の6割。特養に入れるのは4割くらいです。6割の人は特養を受けられない計算です。まさにこれは国による詐欺です。

自立支援制度とは

自立できるふうになつたから保険から外そうという動きです。国民をどんどん介護保険や制度からはずしていくつもりです。

職員に対し、報奨金を出し、自治体に関しても、どれだけはずしたかで交付金を出すという仕組みで、このままでいくと介護保険制度があつても受けられません。

全世代型社会とは

全世代型社会とは、全世代の負担を増やして、全世代の受けるものを増やすという仕組みです。

中央の官僚が考えた国民をだますネーミングです。いい名前には棘があります。

VII. 国保 VIII. これからの取り組み IX. 財源

は次回に続きます。